

令和3年度 第1回岡山市子ども・子育て会議 (議事録/要約)

日時：令和4年3月17日(木) 午後2時～午後2時54分

場所：岡山市勤労者福祉センター4階大会議室

開会

- ・局長挨拶
- ・会長挨拶
- ・新任委員挨拶
- ・成立確認・・・委員20名中17名出席にて過半数を充足し、成立を確認。

議事

議事進行は会長

(1) 岡山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

[事務局から資料に沿って説明]

- 会長 昨年度の実績の数字が減っている項目が多い。その原因としてコロナの影響があるとのことだが、委員の皆様のご意見ご質問等あればお願いしたい。
- 委員 コロナ禍であっても保育園・認定こども園は原則開所していた。その現状も報告があればよかった。
- 委員 令和2年度の実績報告であるが、令和3年度の傾向を教えてください。
- 事務局 項目2番の地域子育て支援事業の令和3年度の状況は、令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている。電話で子育て相談の受付は継続していたが、来園してイベントをするような事業は中止または規模を縮小していた。そのため利用者数は令和2年度と同様に減少傾向である。
- 事務局 項目8番、9番、10番、一時預かり、延長保育、病児保育について、集計の数字はあがっておらずはっきりとしたことは言えないが、令和2年度と同様の傾向と思われる。
- 事務局 項目11番、放課後児童クラブについて、まだ数字としてお示しできないが、女性の就業率上昇とともに保育の整備も進み、その流れから利用ニーズが増えて

きている。量の見込みを満たすために計画的に受皿の整備もしており、減るといよりは増えていく傾向になると思われる。

○会長 令和2年度よりも令和3年度のほうが、むしろオミクロン株が子どもたちへ感染する数が増えているので事業によっては難しい状況になりそうだ。

○委員 5歳から12歳のワクチン接種について、推奨や指導など、こういった形で普及を考えているのか教えてほしい。

○会長 今日の議題とはちょっと離れるかもしれないが、子どもたち、5歳から12歳のワクチン接種の見通しや状況について、教えてほしい。大事な問題である。

○事務局 小学校、教育委員会と同じだが、基本的には無理やり推奨という形ではなく、教育委員会と保育部門併せて正しい情報提供に努めている。

○会長 ワクチン接種はいつ頃から始まるのか。

○事務局 3月7日に接種券を発送している。もう努力義務ではないということで、ご判断をそれぞれにお任せしている。

○委員 全体としてコロナの影響で実績が下がっているという話だが、実績が下がっている事業について、こういう取組をしていて補完ができているということを示してもらえると、コロナ禍であるけれど、市としてはいろんな方策を取ってもらっているということが伝わりやすいのかと思う。

○会長 この計画というのはコロナがない時期に立てた計画だが、実際は令和2年度からコロナの状況が始まっている。令和2年度の実績を踏まえて、こういうふうにやろう、あるいはやっているんだということがあれば話してください。

○事務局 漠然とした答えになるが、全体的に子どもの福祉に関わるということとは、イベントなどはもちろん中止せざるを得ないことが多々あったが、電話相談などはやめてないなど、どうしても必要なところは残そうと努めてきた。

今回の実績の数というものは、どうしても減って見えるが、この形で1年目よりは2年目のほうが少し私どもも経験を積んできている。患者さんが発生した場合の対応も少しは分かるようになってきたかと思う。大きくこれをどのように改善するかというようなドラスチックなことはできないかもしれないが、守るべきところ、虐待の見守りなど、本当にやらなければならないところということを押さえながら今の運営を続けていけたらと思っている。

○会長 計画を立てるときにはコロナというのは想定になかったが、コロナという状況

の中での新しい対応というのが今求められているのかもしれない。状況を見ながら事務局のほうで適切な対応を打っていくのが良いと思う。

○委員 一時預かりについて、保育園がコロナの影響で休園になったため、他の一時預かりの施設を利用する方がいた。しかし、その施設もコロナの影響で休まざるを得なくなるなど、預かり先がなくて困る家庭があった。一時預かり事業をどのように進めていくのがよいと考えているか。

○事務局 岡山市の保育園の対応は、陽性者が出たら限定的にそのクラスを次の日から4日間休園している。休みとなった中でも預かりが必要ならば何人かは預かってもらいたいと保育園にお願いしていた。保育園は休園とはいいながら、保護者に寄り添った対応をしたと思う。岡山市については、そういう方は比較的少ないと認識している。

○会長 ほかにあるか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○会長 その他の項目で事務局のほうから何かあるか。

○事務局 岡山市で起きた児童虐待事案等の再発防止に向けた児童福祉審議会での検証についてご説明をさせていただく。

昨年9月に当時5歳の女児が虐待を受け、後に低酸素脳症で死亡し、母親とその交際相手が逮捕、監禁致死の疑いで再逮捕される事件や、昨年10月には岡山市内の認可保育園において、保育遊具事故により当時2歳の男児が死亡する事件が起きている。岡山市の関係機関が関与する中で痛ましい事件が発生しており、お亡くなりになられた児童のご冥福をお祈りするとともに、心より哀悼の意を表させていただく。

いずれの事件も岡山市として重く受け止め、再発防止に向けて大学教授や医師、弁護士等で組織する岡山市児童福祉審議会児童処遇専門分科会で事実把握や発生原因の分析等を行い、必要な再発防止策を検討することとしている。虐待の事案については先月18日、保育遊具事故については昨日、第1回目の検証会議を開催しており、今後も継続して検証を進め、課題や問題点を抽出するとともに、その解決に向けた提言を取りまとめ、報告書として公表を行う予定としている。

○委員 専門者会議も大事であるが、一番は現場であり、その現場の充実とスキルや専

専門性を高めていくことが何より大事と考える。保育園やこども園では事故や虐待には連携をとりながら対応していると思う。それを充実させてより深めていくことが必要だ。見守りや介入ができる現場をもっと生かしていくべきで、専門性の向上がとても大事である。そういったことに取り組んでもらいたい。

- 会長 児童相談所の職員を増やすということだが、よいことだと思う。
- 委員長 岡山市においては虐待防止条例があるが、その中で関係機関と連携して虐待を防止していきましょうと書かれている。それが守られていたのかどうか。民生委員と連携が取れていたのか。いま一度岡山市の条例を見直し、我々関係機関と連携を取って貴い命が守れるように努めていただきたい。
- 会長 審議会でも今後審議されるかと思われる。
- 副会長 心配な子どもがいた場合に家庭の様子を見るのは行政では特に難しい。学校としても家庭の中までは入りにくくて、民生委員の方にご協力いただいたことがある。行政としてというと、ご家庭は構える。そういう意味でも児童委員さんとか民生委員さんやパトロール隊の方とか、いろんな方が本当に学校やいろんな方と一体になって支援することが大切である。
- 会長 学校現場にいたときは、そういう子どもたちに何度も遭遇した。児相の方と一緒に踏み込んでいっても、しつけどと言い張ることもあり、現場は苦労しながらやっている。虐待する前の段階、親を孤立させないとか、親自身が虐待をされて育っているので、人の愛し方を知らない、我が子の愛し方を知らないというようなこともある。そのあたりのことも含めた行政の対応、現場の対応ということが必要になってくると思う。
- 委員 確かに専門職の方がきっちりした対応をしてくださるということはとても大切なことだとは思う。その上で、身近で心配している愛育委員の方など地域の人間がいるということや、その地域の人間の力を借りるということも考えていかないといけない。専門職の方だけでは対応できないこともあるのではないかなと思う。
- 会長 ほかにあるか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

閉会